

標的型メールに対する課題解決

FUJITSU Security Solution

SShieldMailChecker 標的型メール対策

こんなお悩みありませんか？

今すぐ対策を打ちたい・・・

- 何かあってからでは遅いので、今すぐ標的型メール対策を実施したい。

メールを受信したけど・・・

- なりすましなど疑わしいメールが判断できない。
- 疑わしいメールを受け取ったとき、どのように対処したらいいかわからない。

全社的な対策を打ちたいけど・・・

- 各人、各部署の標的型攻撃リスクについて情報が無く全体像が把握しにくい。

使い方が難しいと嫌だな・・・

- 操作方法が難しかったり手間がかかると面倒だ。

富士通SSLのセキュリティ商品 SShieldMailChecker 標的型メール対策 なら悩みを解決

【SShieldMailChecker 標的型メール対策ならではの特徴】

- 独自の識別情報により、なりすましを防止 **特許出願済（注1）**
◇ メールヘッダに埋め込まれた情報を検証して、高精度に社内ユーザーへのなりすましメールを検知します
- 受信履歴を基にした差出人毎の特徴分析(注2) **特許出願済（注1）**
◇ 受信履歴から送信経路の変化など普段と特徴が異なるメールを検知／警告することで、標的型メールである可能性を予見します
- わかりやすい警告画面で受信者に注意を喚起
- 組織全体の標的型攻撃リスクを把握し、不審メールの管理者への通報やログのサーバー集約も可能

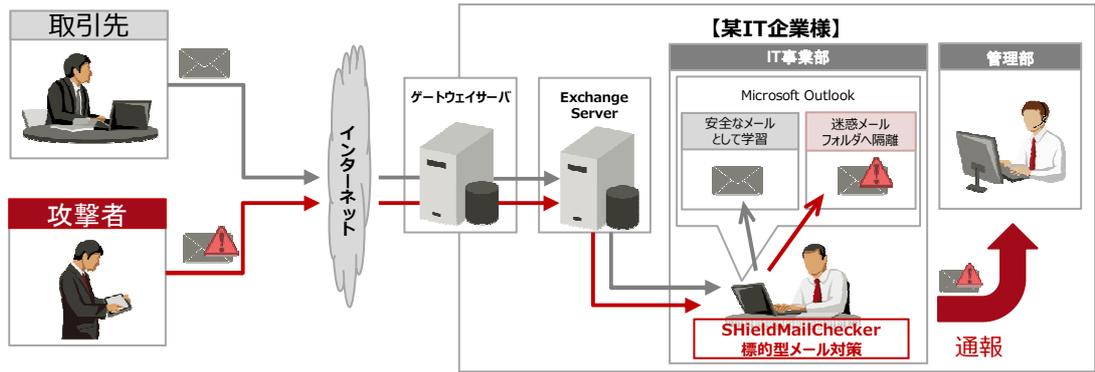
注1) 富士通株式会社による特許出願済の機能です。

注2) ネットワークによっては適用できない場合がありますので、事前に評価版を試用してご確認ください。

検証・設計 短	導入 短	運用 楽	保守
<p>富士通実践ノウハウを蓄積したサンプルポリシーを同梱 組織内共通ポリシーを簡単定義</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事前確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングシートおよび評価版で、お客様環境で動作可能か事前確認 ■ 方式・運用設計 <ul style="list-style-type: none"> ・ポリシー方針定義 ・プログラム/ポリシー配布方式 ・ポリシー変更タイミング ■ ポリシー詳細設計 <ul style="list-style-type: none"> ・ポリシー設定 <p>管理者 </p>	<p>事前検証とクライアントPCへのインストールのみで導入可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ポリシー設定／動作確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ポリシー／アクティブキー作成 ・セットアップファイル作成 ・テスト ■ 導入 <ul style="list-style-type: none"> ・セットアップファイル（インストラ） ・クライアントPC <p>※ 資源配布ツール等を用いた、配布およびサイレントインストールにも対応</p>	<p>メールを読む前に疑いのあるメールを警告表示して、被害を防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 独自の基準で疑わしいメールを判定し、警告画面で注意喚起 ■ 警告画面ではURL(赤色表示)や添付ファイルは開けず、確認のみ可能 ■ 危険と判断したメールを迷惑メールフォルダへ隔離することで、標的型メールの被害を防止 <p>攻撃者 → 社外メール (インターネット) → 既存メールサーバ (Exchange Server) → 社内メール (インターネット) → メール受信者</p> <p>受信者画面: 不審メール警告 (特許型メールの可能性が非常に高いです。注意してお取扱いください。)</p>	<p>メールによる運用保守サポート(※)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ クライアントへのインストールから運用時の操作方法まで、トータルにサポート ■ 無償でマイナーバージョンアップが可能 ■ 各人の受信メールの傾向や隔離状況などをログに蓄積 <p>※ 保守サポートには、別途、保守契約が必要です</p>

導入事例

■ 導入イメージ



導入前の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・標的型メール攻撃が危険だとわかっているが、社員の端末(クライアント)にウイルス対策以外の対策は実施していない。 ・社員全体に標的型メール攻撃の危険性や見分け方の情報共有は行っていた。
導入の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・標的型メールに対する社員のセキュリティ意識を向上させたい。 ・社員が受信したメールと怪しいと判断する補助のために、メール情報を機械的にチェックしたい。
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・Outlookとのシームレスな連携で、メールを開く前にメール内容を安全に確認/隔離できる。 ・サーバ導入不要で、クライアントへの導入により適用完了するため、既存のメール環境を維持したまま段階的導入が可能である。 ・差出人毎のメール特徴学習機能により、過剰な警告が抑止される。
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> ・組織外から送信されたメールの、URLや添付ファイルを安易に開く回数が減った。 ・不審なメールに対する社員のリテラシー(セキュリティ意識)が向上した。

動作環境・価格

● 動作環境

対応プロトコル	MAPI(接続先 : Microsoft Exchange Server 2007/2010/2013)	
動作確認済みのメールサーバ	MAPI : Microsoft Exchange Server[2007][2010][2013]、Office 365(Microsoft Exchange Online) ※	
クライアントPC	OS	Windows Vista SP2以降 (32bit/64bit) Windows 7 SP1以降 (32bit/64bit) Windows 8(32bit/64bit) Windows 8.1(32bit/64bit)
	必要ソフトウェア	.NET Framework 3.5 SP1以降
	確認済みメールソフト	Microsoft Outlook [2007 SP3] Microsoft Outlook [2010 SP2] Microsoft Outlook [2013 SP1]

※ 2014年11月現在のバージョンで動作確認済みです。最新バージョンには順次対応していきます。

※ メールゲートウェイサーバがReceivedヘッダを出力している必要があります。Internet Protocol は IPv4 のみ対応です。IPv6 には対応していません。

● 価格

パック名	ライセンス価格(税別)	年間保守料(税別)	備考
基本ライセンスパック10	45,000円	12,000円	10ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック50	180,000円	36,000円	50ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック100	300,000円	45,000円	100ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック10,000	20,000,000円	3,000,000円	10,000ユーザーまでご利用になれます。

資料請求・お見積り・ご相談

■ 富士通株式会社 ○○支店・○○部

■ 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

■ お問い合わせ総合窓口

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403武蔵小杉タワープレイス

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com 当社ホームページ : <http://www.ssl.fujitsu.com/>